

ま ち の 話 題

豊岡

プリザーブドフラワーアレンジ教室

「永遠の美しさに魅せられて」
時間が経過しても色あせない花

12月23日、コウノトリ文化館(祥雲寺)で市民講座「プリザーブドフラワーアレンジ教室」を開催しました。

プリザーブドフラワーとは、特殊な技術で、生の花をみずみずしい状態で保つように加工されたものです。講師を務めたスタジオアンジェリック・ケイ(元町)の浮田恵子さんは「結婚式のブーケを美しい状態で残したい」と思っていたところ、この技術に出会いました」と話します。

受講した金本陽子さん(戸牧)は「初めてでしたが、思ったより簡単でした。玄関に飾りたいです」と満足そうに話していました。



▲手際よくアレンジ作業を進める受講生ら

城崎

豊岡市城崎消防団出初式

今年も住民パワーで

まちを守る!

1月6日、豊岡市城崎消防団が新年の初行事・出初式を挙行了しました。

当日は、団員約100人が参加し、城崎小学校できびきびと服装・機関点検を行い、町内を分列行進。式典終了後、大谿川沿いで一斉放水をしました。

川に向かつての放水は圧巻で美しく、観光客は足を止め、見入っていました。

消防団長の西浦 博さんは、「市民はもとより、年間100万人を超える観光客の安全安心を守るが私たちの使命」と訓示しました。

8日は豊岡・竹野・但東消防団、9日には出石消防団の出初式が行われました。



▲大谿川に一斉放水が映える

竹野

楽しい迎春行事に
子どもたちの笑顔と餅花が満開!!

御用地館恒例餅つき大会



▲クロモジの木の枝に花びらのように餅を取り付ける子どもたち。なかなか難しい!

12月23日、竹野町竹野の御用地館で、年末恒例の餅つき大会が開催され、地元小学生ら約70人が参加しました。伝統的な迎春行事を後世に伝えようと、同館を運営する「いろいろの会」が平成14年から毎年実施しています。

子どもたちは「ヨイシヨ、ヨイシヨ」の掛け声に合わせて重いきねを振り上げ、順番に餅をついていきます。つき上がった餅は、五穀豊穡を願い、小さく丸めて木の枝に付けて餅花をつくり、残りはきな粉餅やぜんざいにしてみんなで味わいました。

竹垣彩音ちゃん(竹野小1年)は「餅花がきれいでできて楽しかった」と笑顔で話しました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

カウントダウンイベント

新年を迎え

新たな一歩を踏み出そう！

12月31日、日高地域の観光ホテルなどで、新年へのカウントダウンイベントが開催されました。

ロビーには、地元の皆さんや宿泊客ら約70人が集まり、ステージで練り広げられるアカペラグループの歌声に耳を傾けたり、曲を口ずさんだりしながら楽しんでいました。

刻一刻と新年の足音が近付いてきます。一同は、ステージからの秒読みに合わせてカウントダウン！「3、2、1...」。クラッカーが鳴り響くと、互いに笑顔で新年を祝いました。平穩無事な一年を過ごせることを願ってやみません。



▲年明けと同時に鳴り響くクラッカーに子どもたちも大はしゃぎ

出石

伊藤清永美術館「切り絵の世界展」 生命力あふれるタケノコで 東日本大震災からの復興を祈念

12月10日～1月15日、出石町内町の伊藤清永美術館オーブンギャラリーで、弘道小学校5年生児童38人による「第7回切り絵の世界展」が開催されました。

今回は「土のチカラ・命のチカラ」をテーマに選定。このテーマは、児童らが学習時間に話し合い、東日本大震災からの復興を願い、普段何気なく目にしてきた、硬い土から顔を出す元気なタケノコに決めたものです。

切り絵は、紙をナイフで切った白黒2色の素朴なものながら、力強い躍動感に満ちた作品ばかり。美術館の前庭からも作品を見ることができ、観光客の目を楽しませていました。



▲力強いタケノコが38本ニョッキリ！

但東

但東子育てセンター

「伝承遊び&お楽しみ新年会」

親子で懐かしい遊びをしよう

1月11日、但東子育てセンター（但東町出合）で、今年初めての行事として「伝承遊び&お楽しみ新年会」が行われました。

親子11組が参加し、今年のえと（たつ）の絵が描かれたボードに目や口などを並べる福笑いやこま回し、お手玉などの伝承遊びを楽しみました。その後の新年会では、自分たちが植えて、収穫したサツマイモ入りのホットケーキをおいしく食べました。

参加した大石則子さん（但東町矢根）は「普段あまり触れる機会のない遊びをして、懐かしく感じました。子どもも面白がって遊んでいました」と話していました。



▲仲良く福笑いをする親子